



飛翔天女の姿と唐草模様が刻まれた 日本最古の朝鮮鐘

賀茂神社の銅鐘

三井の今樹にある「賀茂神社」には、飛翔天女の姿と唐草模様が刻まれた全国的に珍しい朝鮮鐘があります。この銅鐘は11世紀後半、南北朝の争乱期に朝鮮から伝来したものと推定されており、「国の重要文化財」に指定されています。

この銅鐘は、上部と下部に唐草模様が刻まれ、胴部には天界に住み仏を守る飛翔天女の姿が表現されるなど、朝鮮鐘の特色を持っています。今日現存する朝鮮鐘は、世界で50数個あるようですが、この銅鐘は、日本に伝来

Rediscover my town



わがまち

した中で最古のものとして、注目されています。市では、この貴重な銅鐘を適正に管理するため、平成15年から文化センターで保管しています。

ひっそりと佇む由緒ある神社

石城神社



石城山キャンプ場のすぐ西に、茅葺きの山門があります。さらに山門からの参道を進むと、うっそうと生い茂った木々の中に「石城神社」がひっそりと佇み、境内は真夏でもひんやりとして、豊感を感じさせます。

この石城神社は、平安時代の神名帳（全国神社の登録台帳）にも記載されている由緒ある神社で、「国の重要文化財」に指定されています。

現在の神殿は約500年前、当時周防国や長門国などを統治していた大内政弘によって再建されたと伝えられており、春日造の優雅な神殿です。特に「かえるまた」の彫刻や柱の面の取り方、高欄のそり方などは室町時代の様式をよく残しています。

表紙写真の紹介

「心む故郷づくり」を目指して11月15日、熊野光市長職務執行者をはじめ、多くの市民や市職員が出席する中、新光市の初代市長として無投票当選を果たした末岡泰義市長が初登壇しました。登壇後、早速、職員を前に「新市のまちづくりのキーワードは『改革・再生・創造』。新光市の職員の底力を発揮し、皆さんの心を一つにして、全国の範となる素晴らしいまちをつくっていききたい。」と訓示。末岡市長は、新市建設計画の着実な実行に向けて、新たなまちづくりへの熱い思いと決意を述べました。



人のうごき【10月31日現在】

総人口・世帯数には外国人登録を含む

総人口	56,031 (-5)	男	26,644 (-6)	女	29,387 (+1)	世帯数	22,073 (+14)
外国人登録人口	378 (+5)	男	178 (+5)	女	200 (±0)	世帯数	222 (+5)

100 広報ひかりは古紙配合率100%再生紙を使用しています。